

令和元年度地方創生交付金事業 評価結果

令和2年10月13日 南丹市地域創生会議

「地域創生戦略のKPI達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	施策	事業No. 事業名 (担当課)	事前評価	確定	意見・担当課へのメッセージ等		
1	1	1-1 ふるさと農業創生支援事業	① 3名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●都会から田舎への移住者希望があっても農地と土地がセットされている場合が多く難しい。 ●設定項目について目標値を達成している。起業者の事業継続状況、農家民宿の稼働状況等をモニタリングする必要があると思う。 ●農業に携わる人が増えている点では評価できるが、分析1の、農家レストランの魅力を発信するホームページのデータが、「南丹市 農家レストラン」などの検索でもヒットしないので、発信についてはもう少し工夫する必要がある。 ●起業や農家民宿開設については、その後の事業継続のための支援が重要。京都府等と連携した伴走支援を検討いただきたい。 		
		農業推進課	② 6名			③ 0名	④ 0名
当日追加意見							
1	1	1-2 創業支援事業	① 3名			○	<ul style="list-style-type: none"> ●セミナーの参加者(修了証授与)がどのような起業をされているのか教えてほしい。 ●起業、創業ニーズは高く南丹市への関心も高まっているが、セミナー等の情報提供にとどまらず、事業計画策定支援など創業者に寄り添った個別支援ができていないか？創業に必要な住環境等の整備も不可欠。開業後のモニタリングも含めて創業者への支援を継続することが必要と感じる。 ●一人あたり約3万円の予算である程度効果が出ているとおもう。受講人数を増やすのと、起業後の支援をさらにワンストップにできるとよいのでは。 ●修了証授与された受講者から起業に結びついているものか？ ●起業や農家民宿開設については、その後の事業継続のための支援が重要。京都府等と連携した伴走支援を検討いただきたい。
		商工課	② 6名				
当日追加意見							
<ul style="list-style-type: none"> ●想定する起業者にいくつかパターンやストーリー性を持って支援した方がよいのでは。この事業は本格的な創業を対象としているイメージがあるが、もう少し間口を広げて本格的パターン・軽めパターン等選べる方が創業が増えるのではないかと。女性・若者対象の副業・小規模なものも作ってあげれば、より広がっていくのではと期待している。 ●高校生・大学生向けに、入門編で知識を得られるチャンスを提供したい。 ●積極的な支援をされていると分かった。起業後の伴走支援に商工会がかなり力を入れているので素晴らしい。学生を呼び戻して定期的にセミナーを開催し、起業意欲を上げていく取り組みをしていただきたい。 ●大学生はほとんどが卒業後就職する前提の方なので、その方々がイメージとして在学中から「創業」をある程度理解できているということが大事で、そうなるまでキャリア教育の分野になるため商工課では難しい。大学生には市町村単位でアプローチするのは非常に難しいので、色んな企業がタイアップしてやっていく必要がある。 ●IT関係の企業ならどこでも勤務できるので、地域振興課の移住定住とリンクして、農村地域から駅前・新興住宅地まで手を広げて移住者を確保するべき。 ●高校生が進学する前の段階で高校にアプローチして関係性を構築しておくのもよい。北京都ジョブパークの取り組みのように、高校に頼んで登録用紙を全員に配るようなことも、効率は悪いが今後長期視点の種まきとしてやっていくべき。 							
1	1	1-3 サテライトオフィス誘致事業者等支援事業	① 5名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●「地方創生の聖地」徳島県神山町は、町内全域が光ファイバーで敷設されることになり、これが1つの契機となったとされている。南丹市においても同様、市内全域を光ファイバー網が走っている。テレワーク・サテライトオフィスなど新たな仕事の仕方、働き方が注目される中で、工場誘致のみならず、企業誘致の柱としてサテライトオフィスへの支援や環境整備が必要。 ●エコツーリズムとの関連性が不明である。オフィスと周辺宿泊施設をセットにして販売してはどうか？ ●起業、創業ニーズは高く南丹市への関心も高まっているが、セミナー等の情報提供にとどまらず、事業計画策定支援など創業者に寄り添った個別支援ができていないか？創業に必要な住環境等の整備も不可欠。開業後のモニタリングも含めて創業者への支援を継続することが必要と感じる。サテライトオフィス、貸店舗などの空き家利用について所有者や地域住民の理解がどの程度なのかが疑問。 ●既存事業や既存企業と連携がとりやすいような仕組みができると、より続いていくと思う。 ●相談件数自体が低迷しており、どこに原因があるのか分析が必要。(ニーズとのずれはどこにあるのか。) 		
		商工課	② 2名			③ 1名	④ 1名
当日意見							

「地域創生戦略のKPI達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	施策	事業No. 事業名 (担当課)	事前評価	確定	意見・担当課へのメッセージ等
1	1	1-4 獣肉活用事業	① 3名 ② 2名 ③ 4名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●ジビエ料理店、加工食品製造販売の認知度、需要は高まっているが、実際にこれを使って起業を検討する人がどの程度いるのか？狩猟、加工の規制緩和も必要では？事業として採算がとれるのかなどの検証も必要ではないでしょうか。 ●起業による活用だけではなく、既存企業が販路拡大したり生産効率をあげたりできる施策があると良いかも。 ●KPIが事業内容とリンクしていないように思う。把握できるようであれば獣肉の活用量を把握するようにしていただきたい。
		農山村振興課	① 3名 ② 2名 ③ 4名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	
		当日追加意見	<ul style="list-style-type: none"> ●事務局から昨年度303頭の鹿を活用したと補足があったが、経年変化・立ち位置の比較がないと「303頭」をどう見たらよいのかという判断が難しい。 ●ノウハウをWEBサイトで見られる事業が含まれていた。獣肉が獲れたのも成果だが、つくったサイトが最後どうなったのか疑問。 ●PRするのはよい。獣肉の処理の仕方は民間の書籍であるので、行政がやる必要性は疑問。ただ、各地で南丹ジビエ、獣肉利用の食品等見るようになったので、そこは評価したい。 		
1	2	1-5 南丹市販路開拓支援事業	① 7名 ② 2名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●事業としては高く評価できると思います。今後はコロナ渦の中で展示会、催事等の自粛を余儀なくされるので、オンラインによるビジネスマッチングの仕組みを作る必要があるのでは？世界規模での販路開拓には今後ネット環境を整備することが必須と考えます。
		商工課	① 7名 ② 2名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	
		当日追加意見			
2	1	2-1 空き家流動化対策事業	① 7名 ② 1名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●美山では空き家が増えている。空き家活用をしようとしても親戚の方から断られる。都会に住んでいる親族のセカンドハウスとして利用される。 ●空き家活用件数、移住相談件数も期待を大きく上回っていることからニーズは十分にあることがうかがえる。しかし、まだまだ所有者、地域住民、特に高齢者の理解を求めると感じる。WEB環境の整備も必須。 ●頑張っているとおもうが、登録件数の期待を込めて3 ●新型コロナウイルス感染症の発生により、地方部への注目度が上がっている今がチャンス。移住相談件数に加えて実現件数を追い求めていただきたい。
		地域振興課	① 7名 ② 1名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	
		当日追加意見			
2	1	2-2 定住促進サポートセンター運営事業	① 6名 ② 2名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●移住相談件数が増えているのは良いことであるが、実際相談の結果移住に至った件数はどれくらいあるのだろうか。至らなかったケースでは何が課題だったのか、相談内容を分析してより移住希望者に選ばれる市としての環境づくり、体制を整えてほしい。 ●頑張っているとおもうが、登録件数の期待を込めて3
		地域振興課	① 6名 ② 2名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	
		当日追加意見			
2	1	2-3 定住促進地域情報発信ツール整備事業	① 2名 ② 5名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 1名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●頑張っているとおもうが、登録件数の期待を込めて3 ●一部地域のみでなく、より多くの地域情報発信ツールが作成され、定住促進サイト「なんくら」が更に充実することに期待する。 ●紙ベースの資料は改訂に新たな経費が必要。効率的な作成を。Iターン、Uターンの促進のためには、地域の慣習が妨げになる場合もある。断念された方からその理由を把握すると促進につながるのではないかと。
		地域振興課	① 2名 ② 5名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 1名	○	
		当日追加意見	<ul style="list-style-type: none"> ●もっと色んな地域を推せないのかという意見もあるが、全部取り上げるのは難しいだろう。 ●集落の教科書で取り上げられているようなことが課題だと全国的にも言われている。南丹市の取り組みから波及して石川県七尾市でも作られて、むしろそちらが話題になっている面もある。先駆的な波及力も含めた第1期の成果として、良かったと評価している。 ●頑張っているが、同様の取り組みをしている他地域の方が注目されている状況もあり、PRに活かしきれていない。作って終わりになっている気がするので、作った後の発信・活用も一層努力して欲しい。 		

「地域創生戦略のKPI達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	施策	事業No. 事業名 (担当課)	事前評価	確定	意見・担当課へのメッセージ等
2	1	2-4 特定空き家等対策事業 企画財政課	① 4名 ② 2名 ③ 3名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●これらの事業については十分な効果を出ていると思うが、1-3、2-1、2-2、2-3、2-4とも関連事業であり、担当課や事業内容を集約して効率化がはかれないか？ ●頑張ってもらっているとおもうが、登録件数の期待を込めて3 ●情報システム導入はよいことと思うが、より詳しい地域事情がある地縁団体等からの情報がより有効的だと思う。
		当日追加意見			<ul style="list-style-type: none"> ●実際に移住相談を受けることもあり、「なんくらに相談したがよいところが見つからないので直接相談した」ということも何件あったので、頑張ってもらいたい。 ●担当課自身、KPIの達成に寄与したかという項目で、「導入したばかりで今後活用していきたい」と言っているので評価のしようがない。結果としてシステムができただけの段階。今後期待している。 ●空き家対策としてこういうデータを持つておくのは必要。色んな面でも活用していくことがあるのではないかと期待している。 ●この時点で評価するのは難しいが、続けないといけないう取り組み。
2	1	2-5 おかえり南丹支援事業 商工課	① 3名 ② 3名 ③ 1名 ④ 2名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●将来像が具体的にしている新成人を対象に仕掛けることも一つ。 ●中高生を対象にしているにもかかわらず、配布が高校生にはないのが残念。 ●中高生を対象にした冊子の配布のみで効果が期待できるとは思わない。企業は生き物であり現在の状況が将来に続くとは限らない。Uターン意識を高めるには地元就職も必要だが、インフラ整備、住環境整備等のトータル的な改善が必要であり「住みたい」と思う魅力を作ることが必要なのではないでしょうか。 ●KPIの設定を見直した方が良いのでは ●確かに、それぞれ価値数は多様化しているが、就職先を求める企業には、魅力がなければならず、将来にわたり、安心して働き続けられワークバランスを持ち労働環境がしっかりと整備されているかが重要である。 ●紙ベースの資料は企業のデータが変わった時に改訂が困難。また、中学生に企業情報を配布して高校・大学卒業後の地元就職につながるのか疑問。KPIともリンクしていない。
		当日追加意見			<ul style="list-style-type: none"> ●中高生に働きかけているのはよいが、課題があるのではないかと。しっかり立て直してやらなければならないという意見が強い。 ●単年度事業としては紙媒体を作っただけで、次の年度の学生には配られない。しかも中高生を対象にしているのに高校生には配っていない。義務的に作ったような印象を強く受ける。 ●「南丹ウォーカー」を見た高校生の反応はよかったので、事業内容以外の場面でも活かせるが、事業単体で見たらターゲットがボケている。実施において高校生に配らない等、引っかかる点があった。 ●継続すべき事業である。つくることの魅力、つくったものの活用等、学校でももっと担当課の思いを伝えていったらどうか。今後、有効に情報発信して欲しい。 ●分析のところで、「都会から離れた有能な製造業でゆっくり働きたいという価値観が多い」という記載がある。しかし、中高生の将来像として、製造業がそれだけあるか。マーケティングが欠如している。非常に押し付け感がある。「ものづくりのまち」「伝統工芸」で南丹市をPRしているとは言え、南丹市にはもっと色々な仕事があるので、市が紙を配ることで限らせてしまっていることは課題。
2	1	2-6 シティプロモーション推進事業 秘書広報課	① 3名 ② 6名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●メディアを活用したPR活動は非常に効果があると思います。本事業のKPIは空き家活用件数、移住相談件数で測るべきものなのではないでしょうか？ ●コロナで田舎への注目が集まっているので今後も期待。紙媒体より、Webが効果的におもう。 ●南丹市の知名度向上のためにラジオCMは有効であると考えますが、公開収録については若干疑問がある。
		当日追加意見			
2	1	2-7 総合振興計画管理事業 企画財政課	① 6名 ② 3名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●長期的な観点でデータを蓄積することは必要だと思います。 ●コストを削減し、学生にも興味をもってもらえて良いとおもう ●回答者のうち60歳以上の割合が半数近い結果は片よりすぎ。生産年齢層を含め、若年層の声を反映できるように改善の必要あり。
		当日追加意見			

「地域創生戦略のKPI達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	施策	事業No. 事業名 (担当課)	事前評価	確定	意見・担当課へのメッセージ等
2	2	2-8・9 観光イベント振興事業	① 2名 ② 4名 ③ 3名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	<p>●雨天の場合も100%事業費のかかる花火大会の実施よりも全天候対応のイベント実施の方が確実な効果が見込め、スタッフの労力も報われるように思う。先祖の魂を弔う意味の花火であれば小規模のもので十分ではないか？</p> <p>●観光客誘致には必要な事業であり継続してほしい。大型イベントによる経済効果がどの程度あったか等もKPIに組み入れるべきでは？観光客がどれぐらいお金を使ってくれたかによって住民のイベント開催意欲にも影響があると思う。キャッシュレス対応の整備も今後は検討するほうが良いと思います。</p> <p>●園部城祭りとして今後もやっていくのであれば、400年記念ではない理由があるのでは。花火が中止になっても観光PRできるものがほしい。</p> <p>●季節にあった各種イベント開催は中止になるリスクもあるものの、開催時には市をアピールし多くの人の流れを作り出していることから、地域活性化につながるものであり、地域と育むものであることから継続して行ってほしい。</p> <p>●市民向けのイベント、観光客向けのイベントが混在しており、ターゲットの明確化が必要。イベントによる集客はその日限りであり、イベントを契機として再訪を促進する工夫が必要。KPIに外国人観光客の宿泊数があるが、外国人向けにどのような内容を盛り込んだのか不明であるし、多言語対応等の受入体制があるのか疑問。加えて、次の「各種イベント等開催事業」との違いが不明(所管課の違いというのは市役所内部の都合に過ぎない。)</p>
		2-10・11 各種イベント等開催事業	① 2名 ② 4名 ③ 3名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	<p>●観光客誘致もかねて地域住民の一体感を創造するためにも必要な事業であるが、本当に地域住民が望んでいるイベントなのか等の検証も必要では？「骨折り損のくたびれもうけ」「ありがた迷惑」的なイベントになっていないか等。</p> <p>●目的に郷土愛が入るのならば、KPIも変わってくるかも</p> <p>●各種イベントの来場者の集客はその場限りとなる可能性があり、一定精査することも必要とは思いますが、何よりも市を地域をアピールしていくには有効である。</p> <p>●地域住民の意識醸成(シビックプライド)なのか、市民以外の集客を狙ったものなのか不明。他は「観光イベント振興事業」に同じ。</p>
2	2	2-12・13・14 スポーツ拠点づくり推進事業	① 3名 ② 4名 ③ 2名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	<p>●スタッフはボランティアではなく雇用できる形が望ましい。</p> <p>●自然を利用して各種大会は南丹市をPRするには非常に効果的なものだと思う。各種観光、イベントと同様にある程度は経済効果が期待できるものとする必要があると考える。交通規制等の日常生活に支障を伴う限り地域住民の理解を得るために、もっと経済的利益に繋がるような設備、環境、施策も必要なのではないだろうか。</p> <p>●おもてなしコーナー等への出店だけでなく、南丹市内の、食事や買い物などを事前に紹介しておくことができたら、滞在日数がのびるなど、より市内全体での経済効果が見込めるのでは</p> <p>●いずれも大会自体は認知度も上がっており、一層の定着を期待する。一方で、南丹市内での宿泊など、経済効果につながる工夫が必要。そもそも、大会参加者のうちどの程度が南丹市内に宿泊したのか把握できているのか。KPIに外国人観光客の宿泊者数とあるが、外国人の参加があったのか。また、外国人の受入体制ができていないのか疑問。</p>
		当日追加意見 ※2-8～14まとめて			<p>●市民協働室と観光交流室の担当はどう分けているのか。見かけ上やっているだけのような、あるいは目的が同じように見えるものが分かれている。商工課も含めて役割分担を見直すべき。</p> <p>●イベント系事業全部、焦点がどこなのか分からない。目的が定まっていれば、別に収入のないイベントが沢山あって役所が全部負担することも全然否定しない。</p> <p>●事業を端的に分けると、「地域の方が元気になる」と「外部から人が来る(交流人口とか観光客)」。両者を説明で混同しているので、明確に分けてやるべき。</p> <p>●ずっと地域でやってきたイベントについて、それを改めて育てつつ外部の観光客との結び付けをするという主旨で調書が書かれているのはよく分かるが、南丹も時代も変わりつつある中で、支援する行事の精査や、観光としてしっかり注目して育てるようなものと地域行事としてやっていくものとの整理がもう少し必要ではないか。観光イベント全般に関する有識者会議の論点としては、観光客向けイベントにももう少し切り分けて力を入れてやるべきではないか、ということ。</p> <p>●第1期の場合は内容と合わないKPI設定をしてしまっているから、仕方ない。「来場者数」指標についてはそういう目標意識は当然あると思うが、本当に宿泊者数を増やそうと思っているイベントなら、それで収入がないのはあり得ない。そのあたりをもう少し明確にするべき。</p> <p>●EBPMという、データに基づく政策形成というのを国全体で進めているところなので、高校・大学の地域協働による効果測定も考えてみては。</p> <p>●スポーツイベントは「する」・「みる」・「支える」の3つある。地域の人達は支えることによる生き甲斐・やり甲斐・活力が得られることはあると思う。それを重荷にならないように、本当に活性化に繋がるように、参加者向けのサービスまで考えていかなければ。</p> <p><個別イベントについて></p> <p>■花火大会 花火イベントは密にもなるしコロナ禍では集まりにくい。大雨が降って中止になることも多いので、見直した方がよいのではという意見がある。小規模での開催でもよいのでは。事業としてリスクではないか。</p> <p>■ひよし水の杜フェスタ すごくよいと思うが、主役は各地域の人で、そこに観光客も少し来るもの。観光イベントと同じように説明するから意味が分からない。全然目的が違う。</p> <p>■トライアスロン 宿泊に繋がる仕組みになっていない。大会の申込サイトはあってもそこから市内での宿泊に誘導するものはないからKPIとは一致しない。いずれ外国人も参加してくる価値あるイベントだが、その時に外国人をどう受け入れて泊まってもらうのか、という仕組みを考えなければならぬ。</p>

「地域創生戦略のKPI達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	施策	事業No. 事業名 (担当課)	事前評価	確定	意見・担当課へのメッセージ等
2	2	2-15 観光宣伝事業	① 5名 ② 4名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●南丹市の観光プロモーションは継続して行う必要はあると思います。今後は新型コロナの影響で外国人観光客の誘致は当面できない可能性が高いので、関西圏に重点を置いたプロモーションを行う方が良いかも。コロナ感染リスクが低く近場で自然に触れられる地域としてチャンスかも。 ●DMOや道の駅以外に、府や国の案内ツールやJRやバス、NEXCO等と連携してPRできないか ●観光客は美山町に集中しているのは知名度からも当然のことで、引き続き美山DMOの支援は継続するべき。あとは美山が集客した観光客に南丹市一円を周遊してもらう工夫が必要。
		観光交流室			
当日追加意見					
2	2	2-16 観光協会事業	① 2名 ② 3名 ③ 3名 ④ 1名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●園部地域において、観光協会が設立された中で市内の観光協会ががっちり手を組んで、それぞれの地域の強みを生かした活動を展開しながら、南丹市観光協会へ発展されることを期待しています。 ●道の駅が観光拠点になりつつある中で、観光協会の存在感が薄らいでいる。各HPの更新にも差があり、旧町ごとよりも南丹市として、まとまりを持った情報発信や取り組みが今後必要ではないか。 ●事業費用対効果も検証すべき。 ●各協会どうしのつながりや、民間企業との連携がもっととれるといい。新しい事業者は観光協会のことを知らない人もいるとおもう ●個別の観光協会の支援よりも観光協会間の連携を促進するべき。KPIに外国人観光客の宿泊者数があるが、各観光協会のホームページは多言語対応すらできていないのではないか。
		観光交流室			
当日追加意見					
2	2	2-17 山陰本線南丹市広告宣伝事業	① 4名 ② 4名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●観光としてだけでなく、都会にすむ南丹市民にとっても誇りが持てるようになるので非常に良いと思う。 ●都市部での南丹市のPRには寄与した面はあるが、高速道路網が整備された状況下で南丹市への観光手段としてJR利用は大きく期待できないのでは？併せて、最寄り駅から観光スポットまでのインフラ整備が不十分な状況でありJRの利用促進は期待薄と感じる。 ●デザインを改善し訴求性を高めてほしい。ブランドのビジョンをもっとハイレベルに ●大阪、京都におけるPRは都市近郊という南丹市の強みを生かせると思う。
		地域振興課			
当日追加意見					
2	2	2-18・19 園部藩立藩400年事業	① 3名 ② 2名 ③ 3名 ④ 1名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●観光として取り組む場合、園部藩への市場ニーズがどれだけあるのか不明である。 ●一定の事業成果はあったと思います。 ●展示はよいが、エコバッグの効果はKPIに関係ないのでは ●シビックプライドの観点では有効と考えるが、KPIの達成に結びつく内容かどうかは疑問。
		観光交流室 社会教育課			
当日追加意見					
2	2	2-20 観光文化資源活用推進事業	① 3名 ② 5名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●文化観光推進法が5月に施行され、文化振興を観光振興と地域活性化につなげ、文化財への学びを深め、適正に保存しながら歴史的・文化的背景やストーリー性を考慮した文化資源の魅力を紹介するとともに、積極的な情報発信等を継続して取り組む必要がある。 ●観光として取り組む場合、園部藩へのニーズがどれだけあるのか不明である。 ●一定の事業成果はあったと思います。 ●内容は価値のあるモノだとおもうKPIの設定が違うかも ●市民向けに南丹市の持つ文化を再認識してもらうためには有効であると思う。
		観光交流室			
当日追加意見					
2	2	2-21 展示会事業	① 3名 ② 5名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●一定の事業成果はあったと思います。ニーズは見学型から体験型に変わってきている。展示事業単体での事業ではなく体験型イベントとの融合による事業が必要なのではないでしょうか。 ●内容は価値のあるモノだとおもうKPIの設定が違うかも ●目的、内容はよいと思うが、入場者数からすると費用対効果に疑問が残る。
		社会教育課			
当日追加意見					

「地域創生戦略のKPI達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	施策	事業No. 事業名 (担当課)	事前評価	確定	意見・担当課へのメッセージ等
2	2	2-22 地方創生拠点整備事業	① 2名 ② 6名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	●地域のコミュニティ活動の拠点施設として整備され今後生涯学習の場として活用されたい。 ●Afterコロナでの役割に期待します。 ●今後に期待。改修にまつわる事業計画も良かったとおもう ●実績がないため評価不能。
		社会教育課			当日追加意見
4	1	4-1 小学校跡施設活用推進事業	① 4名 ② 3名 ③ 2名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	●各地地域活性化の拠点として素晴らしい事業であると思います。地域住民だけのものではなく、他地域との連携を密にして南丹市全体の活性化に貢献できる拠点としての活動に期待いたします。 ●自治体が資源として稼げる仕組みを取り入れたり勉強したりできるとよい ●養成した地域リーダーの活動等により地域自治団体の活動が活発化すれば廃校舎の管理経費も意味があると考ええる。
		総務課			●美山の地域活性化に有効。 ●学生と一緒に関わった者としては、持続性が気になる。
4	1	4-2 小学校跡施設管理費	① 4名 ② 4名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	●各地地域活性化の拠点として素晴らしい事業であると思います。地域住民だけのものではなく、他地域との連携を密にして南丹市全体の活性化に貢献できる拠点としての活動に期待いたします。 ●自治体が資源として稼げる仕組みを取り入れたり勉強したりできるとよい ●養成した地域リーダーの活動等により地域自治団体の活動が活発化すれば廃校舎の管理経費も意味があると考ええる。
		地域振興課			●施設管理費を出しながら地域によって今後、各小学校跡地をどうしていくのか決めていくという期間だが、移行なり将来の見通しがいつているのか心配。手放しで有効とはいえない。
4	1	4-3 集落活性化支援事業	① 4名 ② 5名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	●4-1.2事業との連携で一定の事業成果はあったと思います。 ●過疎法が期限切れとなった場合、地域再生計画の実行をどのように担保するのか。
		地域振興課			●移住者が地域に馴染むにはすごくありがたい制度だと思う。流れで来ているところもあるので、完全に有効とはいえない。
4	1	4-4 ひとものクロス推進事業	① 2名 ② 4名 ③ 2名 ④ 1名 ⑤ 0名	○	●地域活動を実施する中でどんな活動ができるかを考える上で非常に参考となるカタログであると評価できる。コロナ禍の中で地域行事が自粛、縮小されている中で、拡大予防対策に必要な物品を各地域で準備することは、難しいと思われるので、今後はそういったものもウイズコロナ時代が必要となるのでは。(体温計・大型扇風機など) ●あえてカタログを発行する必要があったのか？WEBでの運用ができるのでは？カタログにせずとも、都度ネットでのマッチングでよかったのではないのでしょうか？ ●WEB検索できるようにもしては。民間でちょっとした頼み事をする掲示板があったりするので、連携とれるとよいかも ●紙ベースの情報は内容に変更が生じた場合の改訂が困難。また、カタログがどの程度活用されているのかが重要。
		地域振興課			当日追加意見
4	1	4-5 地域振興事業	① 3名 ② 5名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	●一定の成果はあったと思います。 ●地域外の若者と地元住民との交流は活性化のために重要。
		地域振興課			当日追加意見
4	2	4-6 障害者団体活動支援事業	① 2名 ② 5名 ③ 2名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	●誰もが住みなれた地域でいきいきと希望をもって住み続けられるよう継続した支援を期待する。 ●誰もが住みやすい地域づくりのために極めて重要な事業であると思います。 ●補助金で出た成果は？KPIが合ってるのか ●事業内容は意義のあることと考えるが、KPIとリンクしているか疑問。
		社会福祉課			●成果が見えない。

「地域創生戦略のKPI達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

基本目標	施策	事業No. 事業名 (担当課)	事前評価	確定	意見・担当課へのメッセージ等
4	2	4-7 障害者就労支援ネットワーク運営事業 社会福祉課	① 4名 ② 4名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●毎年度、南丹市障害者就労施設等からの物品等の調達方針により、障害者就労施設等からの調達実績の目標を2%の増と設定されているが、増減幅に著しい差が見られる。安定した物品調達の実績が可能となる取り組みが必要。 ●障害者の就労の場を確保するだけでなく、自立支援に繋がる就労訓練等のネットワーク作りにも期待いたします。 ●KPIが合っているのか ●事業内容は意義のあることと考えるが、KPIとリンクしているか疑問。
		当日追加意見			<ul style="list-style-type: none"> ●「有効」ではなく、「必要な事業である」でよい。絶対に自転出来ない組織であるから、継続するべきであると思う。就労支援も通常ではできない非採算分野なのは間違いないので、事業内容は全く否定するものではない。 ●いずれにしてもやらなければならない事業で必要性は高いが、国からお金をもらえてありがたかった。
4	2	4-8 特別支援教育推進事業 学校教育課 人事課	① 6名 ② 2名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●知的、身体障害児以上に発達障害児、不登校児等が増加傾向にあると思います。きめ細かな障害児支援を行うことで保護者のケアにもつながると考えます。事業の更なる充実に期待いたします。 ●KPIが合っているのか ●事業内容は意義のあることと考えるが、KPIとリンクしているか疑問。
		当日追加意見			
4	3	4-9 森の京都推進事業（DMO負担金） 観光交流室	① 4名 ② 3名 ③ 0名 ④ 2名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●一定の成果はありKPI達成に寄与した取り組みが出来ていると思いますが、具体的な経済効果や観光客誘致実績がよくわからない気がします。 ●海やお茶の京都とも連携して、大きな目線でPRをしてほしい ●対外的、特に首都圏や海外などの遠隔地への訴求力を考慮すると南丹市単独ではなく府や近隣市町村、団体との連携が重要であり、森の京都DMOの活動を定着させる必要がある。
		当日追加意見			
4	3	4-10 間伐材出材奨励事業 農山村振興課	① 3名 ② 5名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●これも一定の効果は出ているのだろうが、林業という観点で具体的な効果が見えないと思います。実際にどの程度の間伐推進ができたのでしょうか？ ●地場の木材が活用しやすくなるような仕組みづくり(製材所や木材市、工務店等と連携するなど)ができないか ●新しい森林管理システムの同行も注視しながら、林業が産業として自立可能な方策を検討する必要がある。
		当日追加意見			
4	3	4-11 森の京都推進事業（国定公園） 環境課	① 5名 ② 4名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	○	<ul style="list-style-type: none"> ●丹波高原国定公園の認知度状況、経済効果見えており事業としての貢献度は高いと思います。引き続き市民や社会ニーズを敏感にキャッチし利用者の増加を行うことに期待いたします。 ●森の京都や他の観光協会、他地域の国定公園との連携などに期待 ●南丹市あるいは森の京都のアイコンとしてのビジターセンターは非常に重要である。あとはその賑わいの効果を南丹市全域に行き渡らせる工夫が必要。
		当日追加意見			